



## 拠点紹介



### Encore Automation LLC (オンコア社)

TKS Industrial Company(大気社アメリカ)は1981年の設立以来、現地に根ざした事業活動を推進し、自動車塗装工場で、多くの施工実績を重ねてきました。こうした中、オートメーション技術の拡充を目的に2014年、ロボットを利用した自動塗装システムのエンジニアリング会社であるEncore Automation LLC(以下オンコア社)と業務・資本提携を実施、来年には提携10年目を迎えようとしています。(2019年6月に完全子会社化)

オンコア社は、自動車塗装の分野で「粉体塗装」という高い生産性・塗着効率を実現する業界有数の技術を有しており、米国を中心にプロジェクトを展開しております。

現在、航空機向けUV Cure Sealer<sup>※1</sup>や、自動車向けTu-toneフィルムコーティング<sup>※2</sup>などの技術開発を進めており、今後も当社グループとのシナジーを発揮し、業容拡大、カーボンニュートラル達成に向けた取り組みを強化してまいります。

※1 UV Cure Sealer: 紫外線の照射により塗料や樹脂を硬化させる技術。熱による乾燥に比べて環境負荷低減やエネルギー効率などのメリットがある。

※2 Tu-toneフィルムコーティング: 自動車ルーフ部分をフィルム加飾することで、従来のスプレー塗装に比べ環境負荷を大きく抑えることができる。



## FOCUS

2022年の米国の新車販売台数は減少したものの、新型コロナウイルス感染拡大から経済が回復し、半導体不足も解消に向けて進んでいることから、2023年は前年比増加の見込みであり、底堅い伸びが期待されております。

また、米国では、電気自動車(EV)分野の需要が増えており、2030年には米国で販売される自動車の50%以上がEVになる見込みです。

オンコア社でも、従来の活動に加えて、同分野における新規事業投資や、設備更新に伴う投資を積極的に取り込み、さらなる売上拡大を目指します。



この写真は大気社の海外拠点があるアメリカの世界遺産、グレート・スモーキー山脈国立公園です。アメリカの拠点については、裏表紙をご覧ください。







株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、このたび当社第79期第2四半期連結累計期間（2023年4月から2023年9月まで）を終了しましたので、概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 長田 雅士

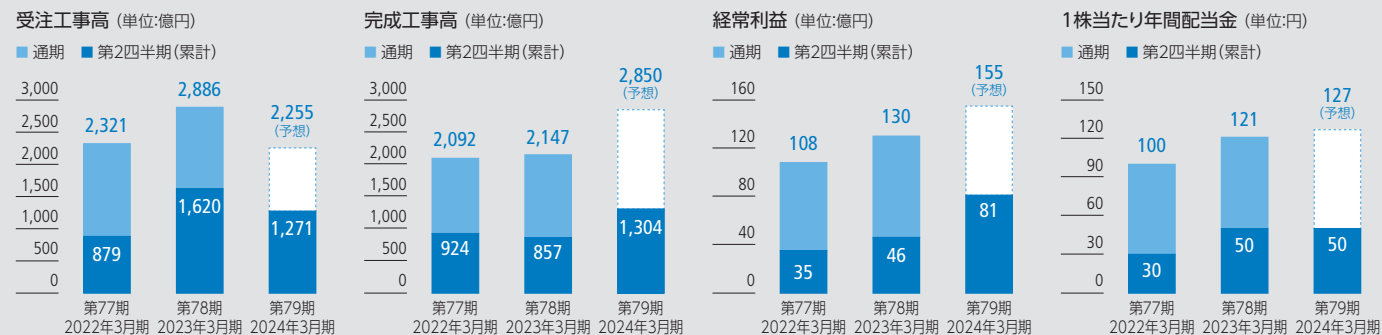
### 当第2四半期連結累計期間の事業環境について

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、欧米におけるインフレの長期化や、政策金利の引き上げ等により不安定な状態が続きました。米国では、インフレの長期化や金融引き締めなどを背景に、景気後退の懸念があるものの、良好な雇用環境を背景に景気は堅調に推移しました。中国では、不動産市場を始めとした内外需要の低迷により景気は減速して推移しました。東南アジアでは、海外経済の減速により、成長ペースが鈍化しました。日本経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復が続いているものの、物価高の長期化等により先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおける市場環境につきましては、海外市場では世界経済の減速懸念はあるものの、各メーカーによる設備投資は堅調に推移しました。

一方、国内市場では半導体関連や自動車メーカーによる投資が継続しており、都市圏における再開発の需要も堅調に推移しました。

### 業績ハイライト



### 当第2四半期連結累計期間の業績について

大気社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績について、受注工事高は、前年同期に大型案件の受注があったことによる反動減等により、国内・海外ともに減少し、1,271億96百万円(前年同期比21.5%減少)となり、うち海外の受注工事高は、569億43百万円(前年同期比0.1%減少)となりました。

完成工事高は、国内・海外ともに増加し、1,304億11百万円(前年同期比52.0%増加)となり、うち海外の完成工事高は、489億89百万円(前年同期比53.9%増加)となりました。

利益面につきましては、完成工事総利益は180億58百万円(前年同期比46億50百万円増加)、営業利益は74億27百万円(前年同期比35億79百万円増加)、経常利益は81億1百万円(前年同期比34億43百万円増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は66億26百万円(前年同期比41億83百万円増加)となりました。

### 中期経営計画の進捗について

2023年3月期から2025年3月期までの3か年における当社グループの中期経営計画の進捗について、ご報告申し上げます。当社は今後もすべてのステークホルダーから高い信頼と評価を得られるよう、経営目標達成のために全力を尽くしてまいります。引き続き変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

基本方針	方向性	2024年3月期上期実績および進行中の主な取り組み	
コア事業のさらなる強化	環境システム事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>付加価値を生み出し続ける事業展開</li> <li>技術の大気社を強化</li> <li>業務の仕組みの改善と生産性向上</li> </ul>	
	塗装システム事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外での確固たる地位の確立</li> <li>グローバルな社会課題を意識した開発</li> <li>業務の仕組みの改善と生産性向上</li> </ul>	
新たな価値創出への挑戦	知的財産戦略の立案・推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社の知財・無形固定資産の有用性検証中。</li> <li>環境システム事業、塗装システム事業と連携して、知的財産戦略を立案・推進中。</li> <li>知財に関する社内教育の継続、および発明に関する規程の改定実施。</li> </ul>	
	顧客視点の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年4月に、アクセスの良いR&amp;Dサテライト[TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku]を本社に開設し、顧客への照会開始。潜在的顧客ニーズの把握と、新たな価値を創造する製品開発を検討中。</li> </ul>	
	オープンイノベーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術開発センター計画(2024年5月完成予定)。</li> <li>R&amp;Dサテライトとの連携による技術体験を通じた顧客とのコミュニケーションの拡大と、顧客視点の技術開発推進を目指す。</li> </ul>	
	強みとなる技術の水平展開	グリーン機器事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>精密温調チャンバー*の受注活動推進中。</li> <li>*半導体製造において装置まわりや、超精密加工や測定、検査を可能にする環境空間を構築する設備</li> <li>排気処理装置のラインナップ拡充を実施中。</li> <li>人の動きに追従して冷風を吹く吹出口システム[FOLLOAS]の量産化に向けた体制の構築実施中。</li> </ul>
		オートメーション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>オートメーション領域の拡大に向けた取り組みを実施中。</li> <li>新規顧客獲得のための活動として、展示会を活用した活動を継続実施中。</li> <li>高塗着効率技術の市場投入に向け、各種検証実施中。</li> <li>ドライ加飾技術の開発実施中、国内R&amp;D施設に実証ラインを設置予定。開発課題を海外R&amp;D拠点と共有することで、開発速度を加速中。</li> </ul>
		植物工場事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社工場にて実証実験継続中。市場開拓の戦略については継続検討中。</li> </ul>
新規事業の開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学、研究機関、民間企業と、市場調査に基づき、社会実装時のビジネスモデルを想定した新規事業に資する共同研究を実施中。</li> </ul>		
変革・成長を支える経営基盤の強化	人的資本の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社事業の推進に合致する意欲・能力の高い人材の獲得(新卒採用75名、キャリア採用27名)。</li> <li>上位職者層を長期に渡り計画的に育成するための制度、プロフェッショナル人材の顕彰制度の整備と運用開始。</li> <li>キャリアプラン制度のブラッシュアップ、人材データベース活用による効果的な適所適材の配置と業務付与を一部開始。</li> <li>社内風土向上の一環として上司だけではなく、同僚や部下からの評価なども含めた360度フィードバック制度を一部開始。拡大検討中。</li> <li>「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定取得(総合順位301~350位)。</li> <li>長時間労働対策として主に現場業務に従事する社員の実態把握と、課題および職場環境改善対策を検討中。</li> </ul>	
	新たな価値提供に向けたデジタル戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・積算・施工管理などのプロジェクトにおける各工程の生産性向上のためのデジタル化・DX化を推進中。設備BIMの標準化と普及・推進に向けた「設備BIM研究連絡会」に参加し活動開始。</li> <li>グローバルなIT-DX体制構築検討中。そのうち、セキュリティに関わるIT管理体制の構築開始。</li> <li>デジタル人材の育成強化策を検討中。</li> </ul>	
グループガバナンス体制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業ごとの資本収益性を図る経営指標の導入を検討中。</li> <li>事業ポートフォリオマネジメントを意識した管理を組織的に実施するための「事業投資ガイドライン」の運用を開始し、拠点モニタリングを実施。</li> <li>関係会社取締役会の役割・責任範囲を明確にし、実効性向上のための諸施策を実施。同取締役会の機能強化を行うとともに、本社によるモニタリング体制強化を実施中。</li> </ul>		



## 事業の概要

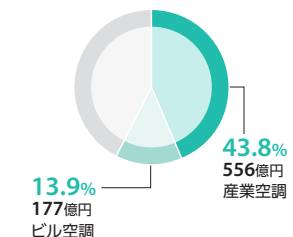
### 環境システム事業

経営資源の重点配分とお客さまへの積極的な提案活動により、さらなる受注拡大を目指します。

当事業は、クリーンルームなど工場向けの空調設備を設計・施工する産業空調分野と、オフィスビルなどの空調設備を設計・施工するビル空調分野を国内外で展開しています。今後の取り組みとしては、電気・電子部品、化学・薬品、医療器具など、高い技術力を発揮できる分野に注力し、「技術の大气社」を強化します。同時に脱炭素・低炭素化に取り組む国内外のお客さまにしっかりと寄り添い、カーボンニュートラル実現を目指します。

さらには、海外市場で今後投資が期待できる未進出国への事業エリア拡大など、事業領域の拡大を目指していきます。

● 環境システム事業 受注高  
累計期間:2023.4.1~2023.9.30



### Green Technology System Division

#### AESC茨城新工場が竣工

2023年8月、茨城県茨城町にAESCのEV向けリチウムイオン電池の新工場が竣工しました。カーボンニュートラルで操業する同工場は、年間6ギガワット時の生産能力を持ち、将来的に20ギガワット時まで拡張予定の国内最大級の工場です。超低湿度環境が求められる同工場の電池製造において、当社はドライクリーンルーム等の諸設備を納入しました。

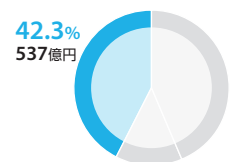


### 塗装システム事業

経営資源の重点配分と海外グループ会社との連携により、さらなる受注拡大を目指します。

当事業は、国内外の自動車メーカーを主要なお客さまとして、自動車塗装プラントの設計・施工を行い、この分野で世界トップクラスの売り上げを誇ります。今後の取り組みとしては、持続的成長を支える事業ポートフォリオの構築に向けて日系自動車メーカーとのより強固な関係性構築と、海外グループ会社との連携や研究所の拡充・活用により非日系自動車メーカーのニーズへの対応力を強化するとともに、オートメーション事業領域を拡充し、航空機・鉄道車両のような自動車以外の市場を拡大していきます。加えて、高い環境目標を設定している自動車メーカー各社の基本戦略に歩調を合わせ、カーボンニュートラル実現を目指します。

● 塗装システム事業 受注高  
累計期間:2023.4.1~2023.9.30



### Paint Finishing System Division

#### マツダ 防府工場の改修工事が完了

2023年3月、マツダの山口県防府工場の改修工事が完了しました。当社は、同社の開発した環境負荷の少ない水性塗装技術「アクアテック塗装」の水分蒸発工程の主要設備であるフラッシュオフ設備を導入しました。当社は、同社の製造ラインを止めずに改修工事を行う工法を取り入れ、短納期かつ、高品質の設備の納入を実現しました。



## TOPICS

### 新時代のパーソナル空調へ 人追従吹出口「FOLLOAS」を開発 ～作業環境の改善や省エネを実現～

当社は、画像認識技術を活用し、人の動きに追従して冷風を吹く吹出口システム「FOLLOAS」を開発しました。作業者の快適性の向上や、全体の給気量の低減による省エネ・CO<sub>2</sub>削減効果も期待できます。

#### 開発の背景

工場では、従来、固定式吹出口による個別空調が採用されていましたが、固定式では作業者の移動範囲をすべてカバーすることはできず、夏期の工場業務が厳しいものとなる場合もありました。当社では近年、ICTを活用した技術開発を進めており、特に画像認識技術の既存技術への応用に注力しています。こうした中、当社が長年培ってきた空調制御技術と画像認識技術を組み合わせることで、よりパーソナル

な空調の実現に向けて、対象者に追従して給気方向が変わる本製品を開発しました。



#### 今後の事業展開

現在、作業環境の改善や暑熱対策、さらには工場全体の省エネを検討されているお客さまに対し、すでに導入提案を進めています。また、複数の工場において試験的導入や耐久性検証を行っており、それらを踏まえて量産化に着手する予定です。2025年までには年間販売台数3,000台を目指し、量産化に向けた体制の構築を進めてまいります。

### 「SURCAR」においてJury's Award受賞 ～「ドライ加飾技術※:自動車製造における新世代コーティングメソッド」を発表～

2023年6月にアメリカ・デトロイトで開催された、塗装業界で最も権威のある国際カンファレンスのひとつである自動車塗装技術国際会議「第6回SURCAR2023 in Detroit」にて、当社グループ企業であるTKS Industrial Companyと日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社の共同発表が、審査員投票で最も評価された発表に贈られるJury's Awardを受賞しました。

ドライ加飾は、被塗物の大きさの制限や、複雑な形状物への貼合が課題となっていました。今回の発表では、高さ700mm以上の曲率の大きい一体型バンパーにも、フィルム延伸率が100%以下に制御することで、シワなく色味の変化を抑えたドライ加飾を実現した点が高く評価されました。

#### 今後の事業展開

ドライ加飾プロセスの確立に向けて、近く自社研究施設内に、量産ラインを想定したドライ加飾システムのデモラインの構築も計画しています。

今後も、自動車外装の付加価値提供技術となるドライ加飾の技術開発を通じ、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

※従来のスプレー塗装(ウェット塗装)に代わり、フィルムを加熱・真空圧空圧によって貼り付けることで、自動車外装などをフィルム加飾(ドライ加飾)する技術。従来の塗料を使用した塗装に比べて加工工場での直接排出部分で大幅に使用エネルギーを抑えることができる。

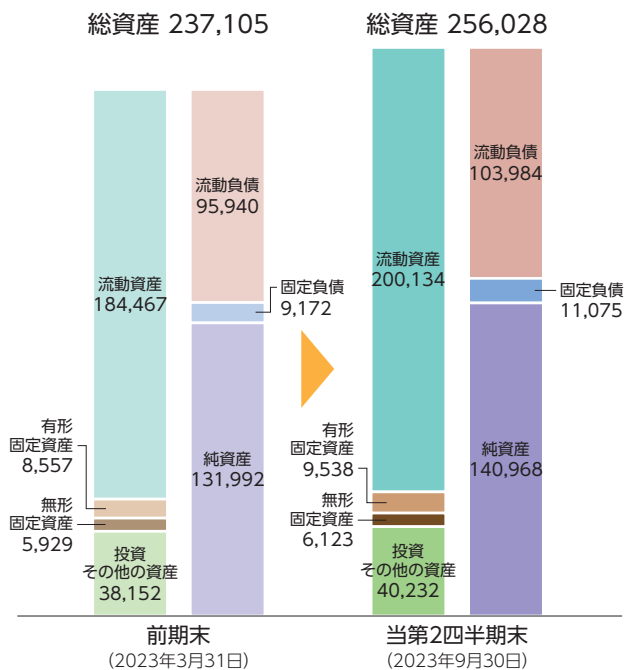




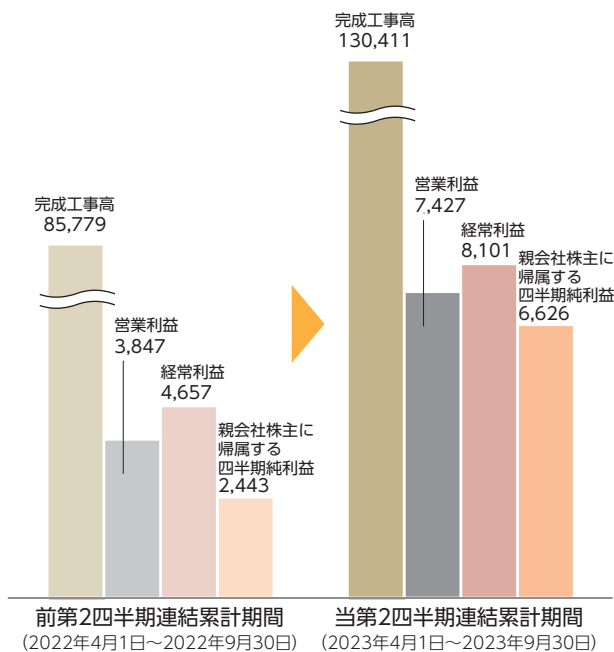


## 連結財務諸表

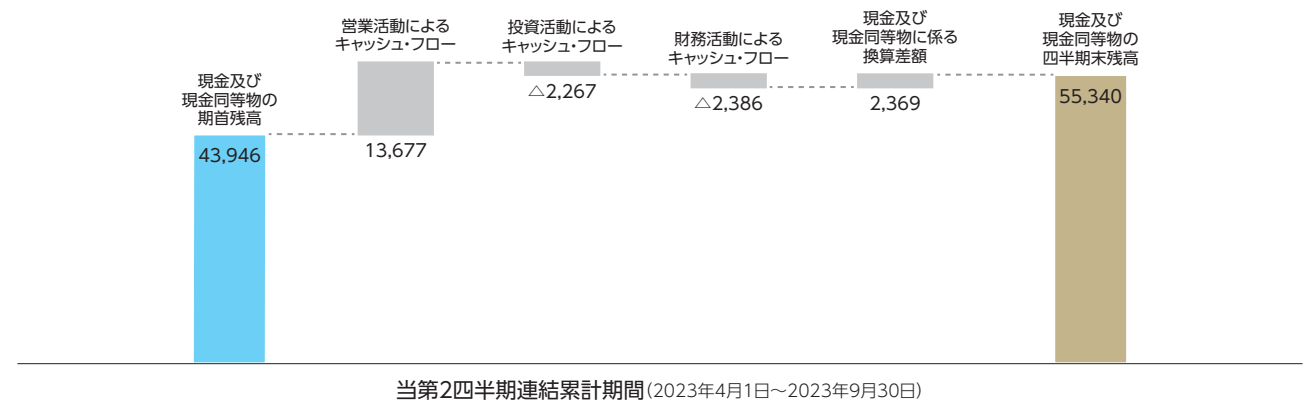
### 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



### 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



### 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



## 株主情報

### 会社概要 (2023年9月30日現在)

商号 株式会社 大気社 (Taikisha Ltd.)  
 創業 1913年4月10日  
 設立 1949年7月7日  
 資本金 6,455百万円  
 従業員数 (個別) 1,665名 (連結) 4,970名  
 グループ企業、取締役および監査役、株式情報については当社ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.taikisha.co.jp>



【グループ企業】  
<https://www.taikisha.co.jp/corporate/information/group/>  
 トップページ > 企業情報 > グループ企業

【取締役および監査役】  
<https://www.taikisha.co.jp/corporate/information/officer/>  
 トップページ > 企業情報 > 大気社グループについて > 役員紹介

【株式情報】  
<https://www.taikisha.co.jp/ir/stock/info/>  
 トップページ > 株主・投資家情報 > 株式・株主情報 > 株式情報

### 株主メモ

証券コード 1979  
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社  
 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話お問合せ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)  
 公告方法 電子公告により行います (当社ウェブサイトに掲載)。  
 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

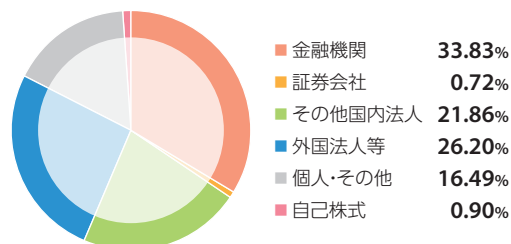
### 株式状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株  
 発行済株式の総数 33,582,009株  
 株主数 3,877名

### 大株主 (所有株式数上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,924	17.80
株式会社建材社	1,730	5.20
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,328	3.99
大気社社員持株会	1,158	3.48
住友不動産株式会社	1,134	3.41
大気社協力会社持株会	1,087	3.27
ザバンク オブ ニューヨーク メロン (インターナショナル) リミテッド 131800	1,022	3.07
株式会社第二建材社	1,000	3.00
日本生命保険相互会社	866	2.60
株式会社みずほ銀行	659	1.98

### 所有者別株式分布状況 (株式数比率)



(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
 2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。